

西之内町地車新調通信

西之内町地車新調横断幕

兵主神社前に設営

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、西之内町の皆様におかれましては、コロナ禍の中お変わりございませんでしょうか。西之内町地車新調実行委員会の活動内容をご報告いたします。

令和3年1月に、兵主神社前の沿道に地車新調の横断幕を設営いたしました（下写真）。設営に関して、兵主神社様のご協力に誠に感謝いたします。

令和5年の地車新調に向け、町内の方々に改めてお知らせするとともに、新調実行委員が一丸となり、後世に誇れる西之内町の新しい地車が完成するように頑張つてまいります。

さらに、新たな場所に設営された横断幕により、町内で西之内町の地車新調に関心が高まり、コミュニケーションの活性化と、祭礼をはじめ、その他の町内行事のご理解とご協力に繋がればと考えます。また、地車彫刻の作業工程を改めて説明いたします。

2021年
2月号

新調通信に関する御問い合わせ
西之内町公民館
0724447712



設営された横断幕

令和五年完成

地車制作 (有)植山工務店

彫刻 木彫山本

新調地車の彫り物 進捗報告

先月の通信では、見送り下の連子部の着手の報告をさせていただきました。この部分については、現在荒彫りの完了まで進んでおり、次工程の素彫り、仕上げの段階に入りますが、その工程は、他部分の仕上げの段階と並行して行います。

荒彫りの工程には、大きく荒落しと小造りの工程に区分けされます。荒落しは、叩き鑿（のみ）で彫り砕き、木の板から武者や馬、木々などを彫りだします。小

造り工程とは、五十から百種類もの鑿を使い分け、武者の鎧の曲線部や馬の鬣（たてがみ）などの細部を彫りだしていく作業です。

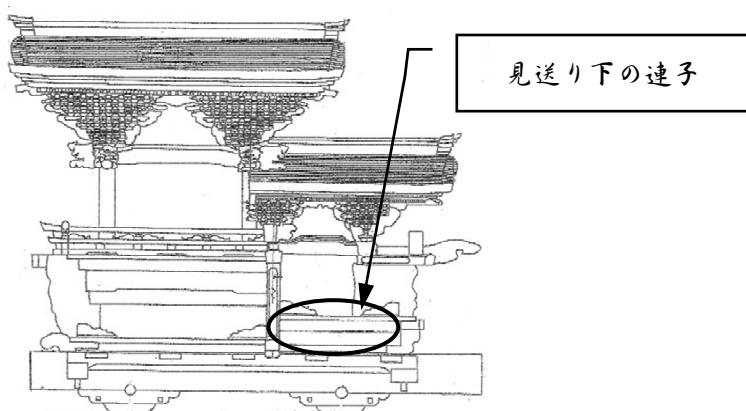
仕上げの工程では、素彫り作業と刻み色付け作業となります。素掘り作業では、武者の顔や、鎧の

彫り物の図柄を委員会で決め、彫刻師が下絵にします。下絵は、部材の厚みを考慮しながらチョークや鉛筆を用いて直接部材に書き落とします。また、彫り進め過程で、下絵が消えてしまいまので、あらかじめ下絵の完成とともに紙に書き写したり、近年ではデジタルカメラなどで撮影し、下絵を後から確認できるようにします。

下絵の完成後、新調委員会が武者や馬の動きの表現、背景の木々などの確認を行い、追加や修正を彫刻師に依頼し、次工程の荒彫りに着手します。

地車の組み立て後に、刀や槍、弓といった武具を武者に持たせます。鎧、轍、旗印の一部に彩色を施します。

細部、木々の枝葉に至る部分まで荒彫りの跡が残らないよう表面を滑らかにする作業です。刻み作業は、顔の表情や木々の幹の皮や鎧の細部に至る部分を滑らかにする作業です。

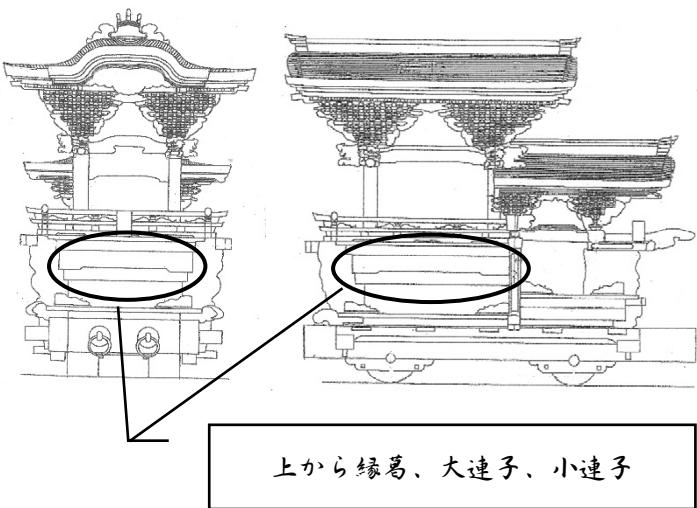


完成となります。

西之内町の新調地車は現在、腰周りと呼ばれる箇所にて縁葛、小連子、大連子という部分の彫り物に山本氏は着手しております。

この部分をふくめ、新調地車は大坂の役を中心に図柄を選定しております。近年の大河ドラマに主役となつた武将なども彫り込まれるかご期待ください。

彫り物の図柄に関しては、江戸期、明治期などの書物や講談、伝記などをも



上から縁葛、大連子、小連子



山本氏の工具（一部）
この鑿から後世に語り継がれる彫り物が刻まれます。



作業状況の山本氏

下絵を描くときには完成形が脳裏に浮かんでいます

とに、武将の特徴をとらえた場面構成を検討しております。合戦物、人物の伝記から、戦場や場面の特徴を盛り込み、令和時代の彫師の技量が後世に残る逸品となる彫り物を山本氏は手掛けていることを、報告いたします。

先月号でもご報告しました、町名旗などの文字も、デジタルフォントではなく、一文字ごと筆で書いていただいた物から、これぞという作品を選定し、デザイン化しております。デザイン化された文字は、刺繡段階でのイメージ更生を行い、町名旗や幟となります。

新調される町名旗、幟に関する技術では、難易度のある技法を用いて重厚感の出る仕上げとしておりま

す。祭礼中には遠目でしか見られない地車装饰品ですが、完成時には是非お近くで、刺繡職人の技をご覧いただけ

ました。新調地車の装飾品のデザインが決定しました。昨年6月、たかだ呉服店と契約し、町名旗、幟、吹き散り、赤幕、金綱、纏と地車の装飾に関して、委員会の中で様々な意見を取り入れ進めてまい

りました。

検討過程では、西之内町といえば、鶴丸紋というところから始まり、地元兵主神社の歴史や伝説、重要文化財に至る部分の意匠を取り入れることでデザイン化できたと考えます。

先月号でもご報告しました、町名旗などの文字も、デジタルフォントではなく、一文字ごと筆で書いていただいた物から、これぞという作品を選定し、デザイン化しております。デザイン化された文字は、刺繡段階でのイメージ更生を行い、町名旗や幟となります。

新調される町名旗、幟に関する技術では、難易度のある技法を用いて重厚感の出る仕上げとしておりま

す。祭礼中には遠目でしか見られない地車装饰品ですが、完成時には是非お近くで、刺繡職人の技をご覧いただけます。新調地車の装飾品のデザインが決定しました。昨年6月、たかだ呉服店と契約し、町名旗、幟、吹き散り、赤幕、金綱、纏と地車の装飾に関して、委員会の中で様々な意見を取り入れ進めてまい

ました。新調地車の装飾品のデザインが決定しました。昨年6月、たかだ呉服店と契約し、町名旗、幟、吹き散り、赤幕、金綱、纏と地車の装飾に関して、委員会の中で様々な意見を取り入れ進めてまい

ました。新調地車の装飾品のデザインが決定しました。昨年6月、たかだ呉服店と契約し、町名旗、幟、吹き散り、赤幕、金綱、纏と地車の装飾に関して、委員会の中で様々な意見を取り入れ進めてまい

新調地車の装飾品 デザイン決定

デザイン決定

ればと考えます。

装飾品の制作過程は、直接工房にうかがうことができませんので、たかだ呉服店様からの情報を適宜ご報告いたしますので、お楽しみにお待ちください。

委員会員の独り言

今後も新調通信からの発信情報で、このコロナ禍の下向きの雰囲気を少しでも上向きにできればと思い記事をまとめています。

毎日繰り返し報道される情報、政府、自治体の批判は、閉塞感のある世の中を表していると考

えます。

困難な時代の中で上上がる新調地車情報によつて、少しでも町内の方々の気持ちが晴れることをお祈り申し上げます。

